

令和7年度 第3回 町長タウンミーティング

日時：令和7年12月20日（土） 10：00～12：00

場所：内宿区民センター（内宿ロコラジさろん）

参加人数：45名

意見交換（質問および回答内容は、要約・集約したものを掲載しています）

①

○町の北部エリアにも図書館を作っていただければ嬉しいです。町の北部は人口も多いので、例えば県民活動総合センターの中に図書館を置ければ、さらに活性化して良い町になると思います。

○孫が勉強をする際に県民活動総合センターを利用しています。そういう使い方をしている町民もいるので、けんかつが廃止されるのは困ると思います。

町長回答

◆県民活動総合センターには図書コーナーがあります。しかし専門書が多いので、もう少し充実した本が置いてあるといいかもしれません。県民活動総合センターは埼玉県施設の施設なので、ご意見をお伝えしたいと思います。

◆県民活動総合センターは勉強をするのに適した環境だと考えています。ご意見ありがとうございます。

②

○ごみの集積所の設置やルールについて徹底されていないと感じています。集積所に対してごみを捨てる世帯が増えたことで、ごみが溢れている場所や、役場で配布しているごみネットしか使用しておらず、カラスが散らかしている場所があります。町で補助金を出して、きちんとした集積所を整備した方がいいと思います。

町長回答

◆町内にはごみの集積所が約1,350箇所あります。設置については地域の各班にお願いをしているところですが、ネットと一緒に鉄パイプなどを利用して、カラス対策をしている班もあります。

ごみが散らかっている場所を見かけたら私も片付けるようにしており、地域

全体で協力し合えるまちづくりを進めたいと考えています。また、高齢でごみ出しができない人などに、地域で声掛けをすることで、みんなで助け合える「ぬくもりのあるまち」に繋がると考えています。

③

○伊奈町は高齢者の施策に力を入れていると感じるのですが、高齢者向けの教室などの開催場所は、総合センターやゆめくるが多いです。内宿区など北部エリアから参加するには、車に乗れない人はいなまるで行くしかありません。いなまるで行って帰ってくると、移動の時間の方が長く、参加したい気持ちがあっても億劫になってしまうのかなと思います。県の施設ですが、けんかつを借りて、北部の人でも参加しやすいような教室を開催してもらえると助かります。また、地域包括支援センターも中央と南にありますが、そういった施設が北部には少ないと感じています。

町長回答

◆地域包括支援センターは、社会福祉協議会に設置しているものが中央と北を兼ねています。南部の綾瀬区は65歳以上の割合が50%以上で、内宿区は約13%と、南部は高齢者が圧倒的に多く、北部は比較的少ないのですが、いずれは北部にも地域包括支援センターを作った方がいいと思っています。

また、北部の工業団地のあたりは消防の走行限界エリアになっています。走行限界エリアとは、消防が通報から4、5分以内に駆け付けられないエリアのことで、そのため北部には近いうちに消防署を作る計画があります。

その他にも、北部に買い物できる施設を増やしてほしいというご意見をいただいています。ユニクスはありますが、歩いていけないお年寄りもいるので、現在は移動販売で町内をまわるように対応しています。そういったところも今後の課題のひとつとして取り組んでいきたいと考えています。

◆いなまるについては令和8年11月1日に契約満了となるので、今後は小回りが利くデマンドバスのような形が良いのではという提案をいただいています。バス停までが遠く足が悪いと大変だというご意見がありますが、デマンドバスを取り入れれば、バス停を今より増やすことができるので、より自宅の近くまでバスが来ることができます。町民の皆さんにとって便利になるように現在検討をしているところなので、ぜひご期待いただければと思います。

④

○自分の家族が認知症になった時どうしたらいいのかなど、認知症について学べる機会があればいいなと思います。町のいきいき長寿課で講師の先生をお呼びして、色々な人が勉強できる機会を設けていただければと思います。

また、家族が認知症になった際に困っていることをなかなか相談できない方も多くいらっしゃると思います。地域での声掛けの話がありましたが、認知症の家族を抱えている方が孤立せず、地域で寄り添って温かく生活できるようなまちづくりをしていただければと思っています。

町長回答

◆昨年、オレンジネットワーク事業で認知症に関する講習会を開催させていただきました。オレンジネットワーク事業は、民間事業者が地域の高齢者や子ども、障がいをお持ちの方などの見守りをお願いしている事業です。毎年さまざまなテーマで講習を開いていますが、対象が民間事業者向けなので、今後一般の方でも参加できるような形を考えていけたらと思います。

また、65歳以上の独居世帯は1,000世帯以上あります。高齢で一人暮らしだと、だんだん出掛けるのも億劫になってしまいますし、認知症のリスクも上がってしまうので、ロコラジさろんのように、外に出て人と会話することがとても大切だと思います。講習会なども含めて、町としてそういった機会をできるだけ多く作りたいと考えています。

⑤

○内宿ロコラジさろんは参加者の3分の2が75歳以上で、週2回、年間90回以上開催しています。2019年から活動を始めて8年目になりますが、サポーターが増えておらず、今後活動が継続できるか心配です。皆さん元気に長生きをするために継続して通ってくださっています。この事業は5年や10年で終わるものではなく、地域に高齢者がいる限り続けなければならない永続事業だと思っています。町には、ぜひ計画的にロコラジのサポーターを補充してほしいです。

町長回答

◆ロコラジのサポーター養成講座を1月に開催予定です。サポーターは現在60人くらいですが、興味を持っていただいて、講座の申し込み人数も増えております。講座が終了したらサポーターのシャツも差し上げています。その他にも町ではいろいろな講座をやっており、広報などで情報発信していますので、ぜひ興味を持っていただいてご参加いただければと思います。

⑥

○内宿ロコラジサロンは大変盛況していますが、足の不自由な人が会場までくるのは大変です。車で来ることができれば体操に参加できるという人もいます。内宿区民センターには駐車場がありませんので、駐車場をどこかに設置してほしいと思っています。

町長回答

◆内宿区民センターの隣の公園に駐車場を作ってほしいというご意見を以前にもいただいたことがあります。街区公園は災害時に人が集まる場所になっているため規制があります。そのため、町内に何十箇所と街区公園がありますが、駐車場があるところはありませんし、公園を削って駐車場を作るということは難しいです。現時点での内宿区民センターの駐車場整備については、民有地を借用して駐車場として整備する方法が考えられますが、町による補助の可否については別途検討が必要だと思っています。